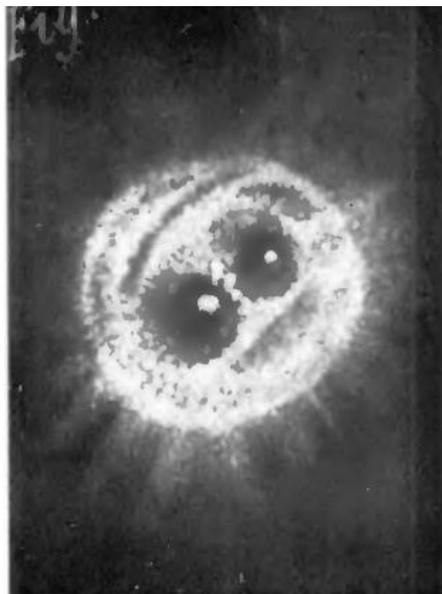


## ふくろう星雲 (M97)

春を代表する星座「おおぐま座」には、ちょっと変わった天体があります。有名なメシエが自分のカタログの 97 番目に加えた (M97) ぼーっと見える天体です。アイルランドにあるバー城 (Birr Castle) の城主ウィリアム・パーソンズ (ロス卿とも呼ばれます) が 1848 年に自作の望遠鏡でスケッチした姿が、まるでふくろう (梟)



ふくろう星雲の姿

左: ロス卿のスケッチ (1848 年)

右: キットピーク天文台 (2020 年公開)

Credit : NOIRLab/NSF/AURA

の顔のようだということで、「ふくろう星雲」(Owl Nebula) と呼ばれるようになったという由来があります。

今では、距離 3000 光年、大きさ 3 光年 (直径)、6000 年ほど前にそれほど大きくない恒星 (中心の星) が外側の大気を何回も吹き飛ばしてできた天体だと分かっています。中心星は明るさ、14 等級で、星雲はこの星を中心に複雑な構造をしています。全容は解明されていません。

空の暗いところでは、口径 15 cm の望遠鏡で 2 つの暗い部分を見ることができます。ギャラクシティでも電視望遠鏡で淡い星雲の中に 2 つの暗い部分を見ることができ、星を見る会でも楽しめそうな天体であることが分かりました。